

自殺予防普及啓発事業【新潟県南魚沼市】

=地域で心のサポートを考える会=

(実施期間) 平成 21～24 年度

(基金事業メニュー) 普及啓発事業

(実施経費) 平成 24 年度 365 千円

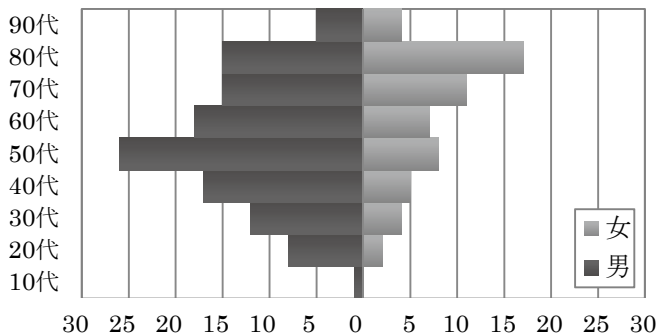
(実施主体) 新潟県南魚沼市

【事業の背景・必要性・目的】

南魚沼市における自殺者数は、平成 19 年度までは年間平均 25 人、およそ 2 週間に 1 人が自殺で亡くなっていた。また、自殺率も全国、県と比較して高かったが、地域には「個人の選択だから仕方がない」という風潮があり、自殺予防対策が緊急の健康課題とされた。そこで、市内の自殺の多い 3 地区を「自殺対策重点地区」として、市の自殺をめぐる実態を共有し、「うつ病」と自殺の関連について学び話し合う事業を展開してきた。継続して地域住民と学習することで、自殺予防のために一人ひとりができることはないか考える足がかりとし、ひいては南魚沼市における自殺予防活動の推進を図ることを目的とした。

【地域の特徴・自殺者数の動向】

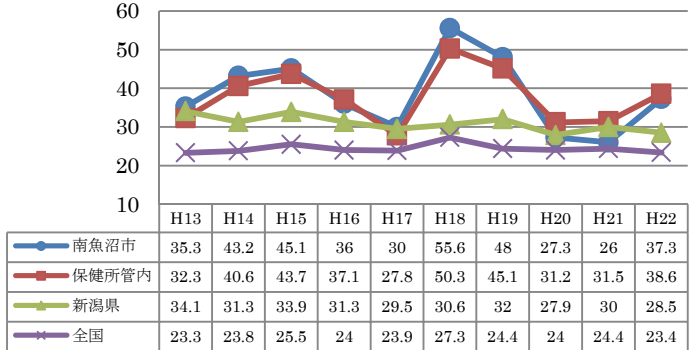
平成17～24年 年代別自殺者数



総人口 (H24.12月末)	年齢3区分別人口割合		
	年少 (0～14歳)	生産 (15～64歳)	老年 (65歳以上)
60,858	7,963 (13.1%)	36,807 (60.5%)	16,088 (26.4%)

(出典：南魚沼市人口集計表)

自殺率の推移 (人口10万対)



H17～H24年の自殺者は男 116 人、女 57 人、計 173 人。年間平均 22 人。(保健課調査)

男女比は 2 : 1、男性は 50 歳代をピークに働き盛りから高齢者まで多く、女性は年齢に比例して多くなっている。

【事業目標】

- ・ うつと自殺の関連、早期対応の重要性、自殺のサインについて理解する。
- ・ ロールプレイを通して、うつ状態と思われる人への対応方法（声のかけ方・寄り添い方）について理解する。
- ・ 専門相談を利用・紹介するために、相談窓口について理解する。

【事業内容】

平成 21～22 年度 「うつ・自殺予防講演会」

内容：市の現状説明、医師講義（うつ病の理解と対応～自殺予防を考えて～）、話し合い

対象：地区役員（区長、健康推進員、筋力づくりサポーター、民生児童委員、老人クラブ、食生活改善推進員等）及び一般市民

平成 23 年度 「地域で心のサポートを考える会」

内容：医師講義（うつ・自殺予防のための対応やヒント）、話し合い

対象：同上

平成 24 年度 「地域で心のサポートを考える会」

内容：医師講義（うつ・自殺予防のための気づきのポイント）、声かけのロールプレイ、話し合い

対象：同上

【事業実施にあたっての運営体制】

・平成 21～24 年度は南魚沼市役所保健課で実施。

講師：南魚沼市立ゆきぐに大和病院 精神科医師、保健課保健師

・平成 24 年度は、3 地区のうち 1 地区において南魚沼地域振興局健康福祉環境部（南魚沼保健所）と協働し、ワーキングチームメンバーとの会議や講演会を行った。

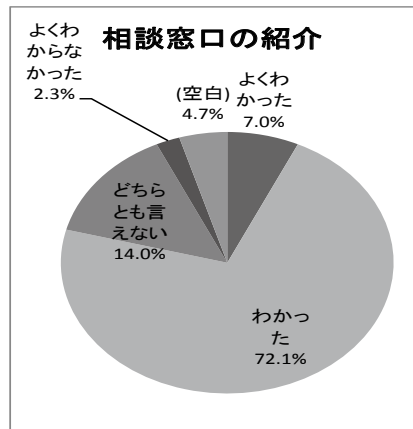
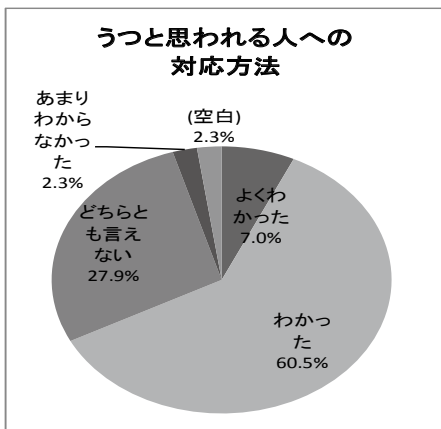
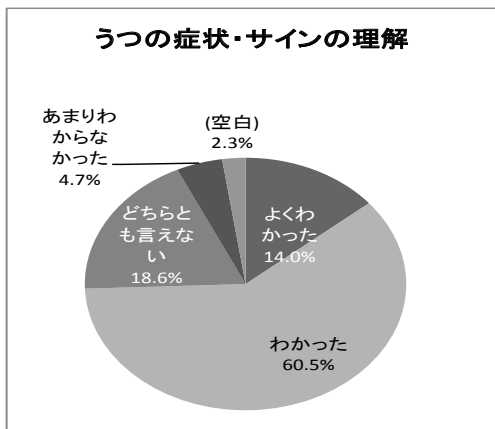


【事業の工夫点】

- ・自殺対策重点地区を設定し、毎年継続して介入した。
- ・実態の周知やうつ・自殺予防の知識の普及だけでなく、地区役員に対して一人一人ができることを考えられるようにプログラムを構成し、話し合いを進めた。

【事業成果、その他特筆すべき点】

目標に対する評価（アンケート調査）



- ・自分自身取り組みそうなことがある（76.7%）
- ・繰り返し参加してきた地区役員は自殺が多いことは健康課題であるととらえるようになった。また「もっと多くの人に知ってもらわなければならない」という意見があり、会の周知方法等今後の企画に工夫が必要。

（問合せ先） 新潟県 南魚沼市役所 福祉保健部 保健課 保健班
TEL：025-773-6811